

# 津久井浜カップ2023 大会レポート



10月28日、29日の日程で神奈川県横須賀市にて津久井浜カップ2023が開催されました。1ヶ月後に控えるワールドカップの前哨戦としても盛り上がりを見せた大会となりました。

## 大会初日

定刻通り開会式並びにスキッパーズミーティングが行われました。風は予報的にはかなり厳しく、長いウエイティングとなりました。選手は、二日目の強風に向けた道具の整備を行ったり、最大セットで練習に出たりとそれぞれの準備に励んでいました。



こちらから出場選手のインタビュー映像がご覧いただけます。

前編：<https://youtu.be/06CL9iXRv8g?si=ZusYbOOVbd-g7B0Z>

後編：[https://youtu.be/19gD\\_WEoi9g?si=1anyPo-bdVUfzu\\_7](https://youtu.be/19gD_WEoi9g?si=1anyPo-bdVUfzu_7)

## 大会2日目

津久井浜の風としては珍しい北寄りのオフショアの風が吹いており、ブローホールが点在する中プロクラスの第1レースがスタートしました。セイルサイズは男子が8.0~6.5、女子が7.0~5.5を使用していました。プロメンズの第1ヒートのみ成立したところで風が急激に落ちたため、プロクラスを中断し、オープンクラスを先に行いました。

オープンクラス第1レースは天候が晴れとなり、風向が少し東に振れたことで急激に風速が上がり、小さいセイルを選んだ選手が順位を上げる展開となりました。予選からクラッシュが続出し、波乱の多いレースでしたが、トップ争いは中嶋颯選手と山浦喜大選手の一騎打ちに。最終レグまで決着のつかない接戦を制したのは、落ち着いて適切なサイズを選択した山浦選手（317）。2番手に中嶋選手(4501)、3番手に磯部選手(172)が続きました。



オープンクラス第1レース ファイナル  
安定感のある走りで山浦選手(317)がトップフィニッシュ

風速がかなり上がったため、プロクラスが再開されました。スタートライン付近に大きなブローホールがあり、大きな順位変動がありました。概ね順当な勝ち上がりとなり、ファイナリストが出揃いました。セミファイナル第1ヒートでは、オープンクラス第1レースでトップフィニッシュの山浦選手(317)が勝ち上がり争いに食い込む大健闘を見せましたが惜しくも5位となりました。

続いて、プロウィメンズクラスのファイナルがスタートしました。セイルサイズは4.8~6.0を使用する風域となりました。須長選手(470)が良いスタートを切り、ファーストマークをトップで回航しますが、第2レグで穴山プロ(311)が強烈な加速で抜き去りそのままトップフィニッシュ。2番手に須長選手、3番手に大西選手(94)が続きました。



プロウィメンズファイナル  
爆発的な加速でレースを制した穴山プロ

最後にプロメンズクラスファイナルが行われました。セイルサイズは6.0~7.0を主に使用する風域でフロントウイングは最小、ボードサイズに若干ばらつきが出るコンディションとなりました。下からジャストスタートを切った穴見知典プロ(60)が終始リードし、富澤選手(11)、田嶋プロ(75)、金上プロ(16)が追いかける展開となりました。



プロメンズファイナルのスタートシーン

予選と比べ風が安定していて順位変動は少なくそのままの順位でのフィニッシュとなりました。



プロメンズファイナル  
穴見知典プロがトップフィニッシュ

その後、プロクラス第2レースをスタートしましたが、風が再び落ちたためオープンクラスに変更となりました。朝のようなガスティな風となり、ほとんどの選手が最大セットを選ぶコンディションとなりました。第1レースのリベンジに燃える中嶋選手(4501)が予選から好調を維持し、ファイナルでもスタートからレースをリードする展開となりました。山浦選手(317)がすぐ後ろまで迫る場面もありましたが、中嶋選手が逃げ切り優勝を決めました。2番手に山浦選手、3番手には生田選手(1919)が続きました。



オープンメンズファイナル  
気合いたっぷりな走りでトップの座を奪い返した中嶋選手



オープンウィメンズクラスは2レース成立  
小峰選手(72)が2レース連続でトップに

日没が近づいたためプロクラス1レース、オープンクラス2レース成立で競技を終了しました。

各クラスのリザルトはこちらからご覧いただけます。

<https://jw-a.org/wp-content/uploads/2023/11/2023sl2tukui-result.pdf>

また、レースのドローン映像もこちらからご覧いただけます。

前編：[https://youtu.be/Z9hi2jfs4n8?si=Pk\\_5br5eN-xr8DCW](https://youtu.be/Z9hi2jfs4n8?si=Pk_5br5eN-xr8DCW)

後編：<https://youtu.be/MIKgVrYGTp4?si=Ou-74UgXh9dUoIW1>

各クラス入賞者



オープンウィメンズクラス  
2位・石井有夏 優勝・小峰恵 3位 高濱奈菜



オープンメンズクラス

2位・山浦喜大 優勝・中嶋颯 3位・生田宏行



プロウィメンズクラス

2位・須長由季 優勝・穴山未生 3位・大西富士子



### プロメンズクラス

2位・富澤慎 優勝・穴見知典 3位・田嶋航

## 総括

最後に、今回津久井浜カップ2023を開催するにあたり、地元津久井浜のショップ様、ご協賛いただいたメーカー各社、そして大会に参加して下さった選手の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。ワールドカップ開催地である津久井浜でプロツアーを開催できたことは非常に大きな前進だと考えております。今後も日本のスラローム競技の最先端を披露する場としてこの大会を盛り上げるため、スラローム委員並びにプロ選手一同、尽力してまいりますので今後ともご支援よろしくお願い致します。

JWAスラローム委員 JPN-16 金上颯大